

# ベル・エポック

## 美しき時代

パリに集った  
芸術家たち

ワイズマン&マイケル コレクションを中心に

PARIS AND LA BELLE ÉPOQUE  
THE CENTER OF AVANT-GARDE ARTISTS  
WITH THE WEISMAN & MICHEL COLLECTION OF MONTMARTRE ARTISTS

会期 | 2025年4月11日 [金] - 5月18日 [日]  
会場 | 岡山県立美術館 地下展示室

※所蔵表記について、デイヴィッド・E.ワイズマン&ジャクリーヌ・E.マイケル所蔵の作品には★マークを付けています。  
※本リストと会場での展示順序は必ずしも一致するとは限りません。  
※一部作品は4月28日(月)に展示替えを行います。

番号	作家名	作品名	制作年	技法/材質	所蔵
----	-----	-----	-----	-------	----

### 1章：古き良き時代のパリ―街と人々 Chapter 1 : Classic Paris-City and its inhabitants

1	エドモン・ランベルール	《モンマルトルから望むパリの屋根》	1895年頃	油彩/カンヴァス	★
2	ジョルジュ・ルオー	《パリ (セーヌ川)》	1901年	水彩・パステル/紙(紙と麻布で裏打ち)	パナソニック汐留美術館
3	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	《ジャンヌ・ポドーの肖像》	1896年	油彩/カンヴァス	個人蔵
4	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	《帽子を被った二人の少女》	1890年頃	パステル/紙	
5	ジョージ・ラクス	《通りの情景》	1900年頃	油彩/カンヴァス	★
6	ルイ・アイエ	《パリの通りの情景》	1893年	油彩/カンヴァス	★
7	アンリ・ソム	《ギャラリーにいる女性》	1900年頃	パステル/紙	★
8	トマス・ジュリオ・リアル・ダ・カマラ	《日本のうちわを持つ女性》	1905年頃	チョーク、インク、水彩/紙	★
9	ルネ・ジョルジュ・エルマン＝ボール	《二人の女性と子ども》	1895年頃	水彩/紙	★
10	ルネ・ジョルジュ・エルマン＝ボール	《買い物に出かける美しいユダヤ人女性》	1896年	リトグラフ、水彩、インク/紙	★
11	エドゥアール・ソニエ	《読書》	1900年頃	グアッシュ、クレヨン/黄色の紙	★
12	エドゥアール・ソニエ	《ポスターを眺める家族》	1900年頃	インク、グアッシュ、水彩、鉛筆、コンテ (サンギーヌ) /紙	★
13	エドゥアール・ソニエ	《女性の横顔》	1900年頃	パステル、水彩/紙	★
14	アンリ・ドトゥーシュ	《サロン・デ・サン》	1896年	リトグラフ/紙	★
15	ルイ・アンクタン	《ヴェールをまとった女性》	1890年	油彩/カンヴァスに裏打ちされた紙	★
16	マクシム・テトマス	《タバコを持つ白いドレスの上品な女性》	制作年不詳	木炭、水彩/紙	★
17	マクシム・テトマス	《座る女性》	1900年頃	リトグラフ/紙	★
21		《ヴィジティング・ドレス》	1885年頃	絹	文化学園服飾博物館
25		《帽子》	1905-1910年頃	ストロー、羽根	文化学園服飾博物館
29		《こども服》	1890年頃	絹(ヴェルヴェット)/コード刺繍	文化学園服飾博物館
30		《ペンダント》	1900-1910年頃	メタル/エナメル	文化学園服飾博物館
31		《ペンダント》	1900-1910年頃	メタル、シェル/エナメル	文化学園服飾博物館
32		《ペンダント》	19世紀末	メタル、シェル、ガラス/エナメル	文化学園服飾博物館
33		《バックル》	1900-1910年代	メタル、ラインストーン/エナメル	文化学園服飾博物館
34		《バックル》	1900-1910年代	メタル	文化学園服飾博物館
35		《バックル》	1900-1910年代	メタル、ラインストーン/エナメル	文化学園服飾博物館
36		《バックル》	1900-1910年代	メタル、ガラス	文化学園服飾博物館
37		《バックル》	1900-1910年代	メタル、ラインストーン	文化学園服飾博物館
39-3	アナイス・トゥードゥーズ	《ルージュ百貨店の女の子の服》 (Pl. 44) 『ラ・モード・イリュストレ：ジュルナル・ド・ラ・ファミーユ』より フィルマン・ティド・フレール、フィス、パリ、31巻 (1-52号)、1890年1月5日-1890年11月28日、フランス語			文化学園大学図書館
40-1	イザベル・デグランジュ	《グランド夫人の裏い、プロヴァンス通り67番地》 (Pl. 2) 『ラ・モード・イリュストレ：ジュルナル・ド・ラ・ファミーユ』より フィルマン・ティド・フレール、フィス、パリ、35巻 (1-52号)、1894年1月7日-1894年12月30日、フランス語			文化学園大学図書館
42	アレクサンドル・カバネル	《狩の女神ティアナ》	1882年	油彩/カンヴァス	栃木県立美術館
43	マイセン磁器	《染付色絵ランプレカン模様花卉文フォーク、ナイフ》	1725-1730年頃	磁	栃木県立美術館
44	マイセン磁器	《色絵花卉図喫茶用セルヴィス》	1765年頃	磁	栃木県立美術館
45	マイセン磁器	《青彩鱗模様色絵樹下人物図カップ&ソーサー》	1760年頃	磁	栃木県立美術館
46	マイセン磁器	《青彩鱗模様色絵樹下人物図カップ&ソーサー》	1760年頃	磁	栃木県立美術館
47	マイセン磁器	《色絵貼花鳥果実飾蓋付瓶》	19世紀中頃か後半	磁	栃木県立美術館
48	マイセン磁器	《色絵樹下少年像高脚小鉢付センターピース》	1770年頃	磁	栃木県立美術館
50	マイセン磁器	《色絵花飾ブット坐像燭台「四大元素の寓意」》	1900年頃	磁	栃木県立美術館
51	エミール・ガレ	《マグノリア文壁掛ランプ(一対)》	1918-1931年頃	被せガラス、エッチング	株式会社神谷美術
52	エミール・ガレ	《蝶文柱付瓶》	1894-1904年頃	被せガラス、マルケトリー、グラヴュール、アップリケ	株式会社神谷美術
53	ドーム兄弟	《ばら文花瓶》	1910年	被せガラス、異色硝かし込み、エッチング、グラヴュール	株式会社神谷美術

54	ドーム兄弟 (エドモンド・ラシュナルのモデルに基づく)	《ヤドリギ文リキュールグラス&カフェ》	1901年	エナメル彩、金彩	株式会社神谷美術
55	ドーム兄弟 (エドモンド・ラシュナルのモデルに基づく)	《ヤドリギ文シャンパングラス》	1901年	エナメル彩、金彩	株式会社神谷美術
57	ジョルジュ・ルオー	《流浪者の休息》	1909年	油彩/厚紙 (板で裏打ち)	パナソニック汐留美術館
58	ウジェーヌ・カリエール	《母性》	1892年	パステル・木炭/紙	★
59	フェルナン・ベレーズ	《小さなレモン売り》	1890年	油彩/パネル	★
60	アンリ・ソム	《扇を持った女性》	1895年頃	水彩/紙	★
61	ルイ・ルグラン	《扇をもつ上品な女性》	1899年	パステル/紙	★
62	ジョルジュ・ボッティエニ	《裸の女性の肖像》	1900年頃	水彩・クレヨン/紙	★
63	ジョルジュ・ボッティエニ	《狐の毛皮をまとった扇を持つ女性》	1901年	油彩/カンヴァス	★
64	アンリ=ガブリエル・イベルス	《髪をとかす女性》	1895年頃	パステル/紙	★
65	リュシアン・ギラン・ド・セヴォラ	《ムーラン・ルージュの舞踏会の情景》	1895年頃	グアッシュ・灰色の墨・鉛筆/紙	★
66	アンドレ・ドゥヴァンペ	《理解されない者 (習作) 》	1904年	インク・木炭・パステル/紙	★

## 2章：総合芸術が開花するパリ

### Chapter 2 : Where the Blossom of the Arts Unfolds

67	ヨハネス・ドーンベルグ	《モンマルトルの女性》	1891年	油彩/カンヴァス	★
68	マリウス・エスティエンヌ	《ムーラン・ド・ラ・ギャレット》	1902年	水彩/紙	★
69	ウジェーヌ・グラッセ	《モンマルトルの星夜》	1897年	水彩、パステル/紙	★
70	ルイ・アベルトリュシェ	《パリの大通りの夜景》	制作年不詳	油彩/カンヴァス	★
71	ルイ・アングタン	《イーゼルにむかう自画像》	1892年頃	油彩/パネル	★
72	ルイ・アングタン	《クローズ通り10番地の画家アングタン》	1900年頃	リトグラフ/紙	★
73	ジュール・シェレ	《ムーラン・ルージュ》	1889年	リトグラフ/紙	★
74	アンリ・ソム	《ムーラン・ルージュの前に佇む女性》	1900年頃	水彩/紙	★
75	テオフィル=アレクサンドル・スタンラン	《ムーラン・ルージュで踊るラ・グリユとヴァランタン・ル・デゾッセ》	1895年	水彩、鉛筆/紙	★
76	ルイ・ルグラン	《奇抜なダンス》 『ジル・プラス』 誌より1891年5月23日刊	1891年	カラー・フォト・レリーフ/紙	★
77	ルイ・ルグラン	《奇抜なダンス》 『ジル・プラス』 誌より1891年5月10日刊	1891年	カラー・フォト・レリーフ/紙	★
78	ダルヴロ (?)	《ムーラン・ルージュのカンカンの踊り子たち》	制作年不詳	パステル/厚紙	★
79	エドゥアール・クテュリエ	《ムーラン・ド・ラ・ギャレット》または《ムーラン・ルージュ》	1895-1900年頃	グアッシュ/厚紙	★
80	ルイ・ルグラン	《パル・ビュリエでのカンカン踊り》	1895年頃	グアッシュ/紙	★
81	マクシム・テトマス	《カフェのテーブルに座る女性》	1908年	木炭・パステル・水彩/紙	★
82	エドモン・ランペルール	《カフェの情景》	1900年頃	インク・水彩、クレヨン/紙	★
83		『ル・リール』 誌	1895-1909年	フォトレリーフ	栃木県立美術館
84	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《イヴェット・ギルベール》 『ル・リール』 誌7号、12頁、裏表紙より	1894年12月22日刊	フォトレリーフ	★
85	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《ボレー》 『ル・リール』 誌16号、12頁、裏表紙より	1895年2月23日	フォトレリーフ	★
86	レオネット・カッピエロ	《イヴェット・ギルベールとフランシスク・サルサー「下着の洗濯は自身の家でなさった方がよろしくってよ！」》	1898年	黒チョーク・水彩/紙	★
87	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《ブリュアンはモンマルトルに戻り『オ・バ・ダフ』を歌う》	1893年	リトグラフ/紙	★
88	アンリ=ガブリエル・イベルス	版画集『ル・カフェ・コンセル』表紙	1893年	リトグラフ/紙	★
89	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《ジャヌ・アヴリル》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
90	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《アンバサドゥールにいるデュカール》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
91	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《アリスティド・ブリュアン》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
92	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《プティ・カジノにいるコーティユー》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
93	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《見物人》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
94	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《風変わりなイギリスの喜劇役者》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
95	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《エドメ・レスコ》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
96	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《イヴェット・ギルベール》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
97	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《ポーラ・プレビオン》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
98	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《マダム・アブダラ》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
99	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	《メアリー・ハミルトン》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
100	アンリ=ガブリエル・イベルス	《メヴィスト》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
101	アンリ=ガブリエル・イベルス	《カム=ヒル》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
102	アンリ=ガブリエル・イベルス	《リベール》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
103	アンリ=ガブリエル・イベルス	《ポーリュス》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
104	アンリ=ガブリエル・イベルス	《マルセル・レイイ》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
105	アンリ=ガブリエル・イベルス	《アンナ・ティボー》 版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★

106	アンリ=ガブリエル・イベルス	《ボラン》版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
107	アンリ=ガブリエル・イベルス	《ジャンヌ・ブロック》版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
108	アンリ=ガブリエル・イベルス	《ウヴラド》版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
109	アンリ=ガブリエル・イベルス	《フォーリー=ベルジェールでリハーサルをするエミリエンヌ・グランソ》版画集『ル・カフェ・コンセル』より	1893年	リトグラフ/紙	★
110	エドモン・ランベール	《イヴェット・ギルベール》	1895-1900年頃	油彩/カンヴァス	★
111	ルイ・アベル=トリュシェ	《ヴァリエテ劇場》	1894年頃	油彩/カンヴァス	★
112	フェルディナン・リュネル	《カフェ・コンセル(シャンゼリゼ?)》	1887年	パステル/紙	★
113	テオフィル=アレクサンドル・スタンラン	《シャ・ノワール》	1896年	カラーリトグラフ/紙	★
114	テオフィル=アレクサンドル・スタンラン	《シェ・ブリュアン (キャバレー) におけるアレクサンドル氏》	1891年8月7日	ミクストメディア/紙	★
115	シャルル・レアンドル	《シャ・ノワールは歩く、ロドルフ・サリスの肖像》『ル・リール』誌より、7頁	1895年8月17日刊	フォトレリーフ	★
116	フェルディナン・バック	《シャ・ノワールの影絵》	1887年頃-1892年	インク・クレヨン・コラージュ/紙	★
117	アンリ・リヴィエール	《影絵芝居アルバム『聖アントワナの誘惑 (ギュスターヴ・フロベール原作)』》	1887年	カラー・ステンシル、フォト・レリーフ/紙	★
118	アンリ・リヴィエール	《影絵芝居アルバム『星への歩み』》	1890年	カラー・ステンシル、フォト・レリーフ/紙	★
119	ジョルジュ・ティレ=ボニエ	《ラバン・アジルの店内》	1910年頃	インク・水彩/紙	★
120	クロード・モネ	《サン=タドレスの海岸》	1864年	油彩/カンヴァス	栃木県立美術館
121	エミール・ガレ	《花文香水瓶》	1896-1897年頃	被せガラス、エッチング、金彩	株式会社神谷美術
122	エミール・ガレ	《とんぼとスカラベ文香水瓶》	1903年	被せガラス、金属酸化物封入、グラヴール	株式会社神谷美術
123	ドーム兄弟	《あざみ文ペーパー》	1890-1900年頃	エッチング、ジブレ、エナメル彩、金彩	株式会社神谷美術
124	ドーム兄弟	《あざみ文ペーパーナイフ》	1890-1900年頃	エッチング、ジブレ、エナメル彩、金彩	株式会社神谷美術
125	エミール・ガレ	《ししうど文ランプ》	1907-1914年頃	被せガラス、エッチング、グラヴール	株式会社神谷美術
126	ルイ・マジョレル	《クレマチス文テーブル》	1902年	木象嵌	株式会社神谷美術
127	ルイ・マジョレル	《藤文椅子》	1900年頃	木象嵌	株式会社神谷美術
128	《スタンダールからフェリックス・フォルへの書簡》メス、1813年11月9日				東京外国語大学附属図書館
129	《ジョルジュ・サンドからフランシス・ロールへの書簡》ノアン、1867年4月11日				東京外国語大学附属図書館
130-1,2	ギュスターヴ・フロベール	『ボヴァリー夫人』ミシェル・レヴィエール、パリ、1857年、フランス語、初版			甲南女子大学図書館
131	《ギュスターヴ・フロベールからエドガール・ラウール=デュヴァルへの書簡》クロワッセ、1891年4月7日				東京外国語大学附属図書館
132	《ビョートル・イリイチ・チャイコフスキーからエドゥアール・コロヌへの書簡》パリ、1891年4月7日 (推定)				東京外国語大学附属図書館
133	《ジャン=ポール・サルトルからワング・コサキエヴィッチへの書簡》ローマ (推定)				東京外国語大学附属図書館
134	アルフォンス・ミュシャ	『主の祈り』より	1899年	リトグラフ/紙	栃木県立美術館
135	モーリス・ドニ、A・ド・ヴィニー(詩)	『エロア』より	1917年	木版・色刷/紙	栃木県立美術館
137	ジョルジュ・ルオー	《ボードレール》『回想録』第2版より	1926年	リトグラフ/紙	パナソニック汐留美術館
138	シャルル・ボードレール	『悪の華』プレ=マラシ・エ・ド・プロワーズ、パリ、1857年、フランス語、初版*私家蔵本			甲南女子大学図書館
139	シャルル・ボードレール	『悪の華』カルマン=レヴィ社、パリ	1903年刊行	書籍	パナソニック汐留美術館
144	オディロン・ルドン	《私の夜な夜なの地の上に神は巧みな指先で、途切れることもない、形さまざまな悪夢を描く。(『悪の華』)》	1890年(縮小版)	イヴリー法銅版画/紙	パナソニック汐留美術館
147	オディロン・ルドン	《章末の挿絵(『悪の華』)》	1890年(縮小版)	イヴリー法銅版画/紙	パナソニック汐留美術館
154	ジョルジュ・ルオー	《〈放蕩〉と〈死〉は…》(『悪の華』のために版刻された14図13)	1926年	エリオグラヴール、シュガー・アクアティント、ドライポイント、スレイパー他/紙	パナソニック汐留美術館
155	ジョルジュ・ルオー	《眉目美しく、姿あでやかな女なり…》(『悪の華』のために版刻された14図14)	1927年	エリオグラヴール、シュガー・アクアティント、ドライポイント、スレイパー他/紙	パナソニック汐留美術館
159	ジョルジュ・ルオー	《生者並みに誇り高く、われとわが貴なる姿を誇りつつ…》(『悪の華』4)	1937年	シュガー・アクアティント/紙	パナソニック汐留美術館
161	ジョルジュ・ルオー	《三人組》(『悪の華』7)	1938年	シュガー・アクアティント/紙	パナソニック汐留美術館
164	シャルル・ボードレール	『テオフィル・ゴータエ』プレ=マラシ・エ・ド・プロワーズ、パリ、1859年、フランス語、初版			甲南女子大学図書館
165	オーギュスト・ロダン	ヴィクトル・ユゴの肖像	1883年	ブロンズ	井原市立平柳田中美術館
166	アンリ・ド・グルー	ヴェルレーヌ	制作年不詳	パステル/紙	★
167	ポール・ヴェルレーヌ	『呪われた詩人たち』レオン・ヴァニエ、パリ、1884年、フランス語、初版、鈴木信太郎文庫より			獨協大学図書館
168	ポール・ヴェルレーヌ	『サチュルニアン詩集』アルフォンス・ルメール、パリ、1866年、フランス語、初版			甲南女子大学図書館
169	エドガー・アラン・ポー、ステファヌ・マラルメ(フランス語訳)、エドゥアール・マネ(挿絵)	『大鴉』リシャル・レスクリード、パリ、1875年、フランス語、レプリカ、鈴木信太郎文庫より			獨協大学図書館
170	ステファヌ・マラルメ、フェリシアン・ロップス(口絵)	『ステファヌ・マラルメ詩集』9集ラ・ルヴェ・アンデパンダント、パリ、1887年、フランス語、限定本(38/47)、鈴木信太郎文庫より 全9篇			獨協大学図書館
171-1	ステファヌ・マラルメ	『半獣神の午後』口絵、花形装飾、章末飾り付き アルフォンス・ドレンヌ、パリ、1876年、フランス語、初版レプリカ、鈴木信太郎文庫より			獨協大学図書館
171-2	ステファヌ・マラルメ	『半獣神の午後』口絵、花形装飾、章末飾り付き ラ・ルヴェ・アンデパンダント、パリ、1887年(表紙の印字は1882年)、フランス語、再版、鈴木信太郎文庫より			獨協大学図書館
171-3	ステファヌ・マラルメ	『半獣神の午後』口絵、花形装飾、章末飾り付き レオン・ヴァニエ、パリ、1887年、フランス語、3版、鈴木信太郎文庫より			獨協大学図書館
172(前後期ページ替え有)	マルセル・ブルースト、マドレーヌ・ルメール(挿絵)、アナトール・フランス(序文)、レイナルド・アーン作4つのピアノ曲	『楽しみと日々』カルマン・レヴィ社、パリ、1896年、フランス語、初版			豊島区立鈴木信太郎記念館
173(前期)	マルセル・ブルースト	自筆書き込み校正刷『失われた詩を求めて』第三篇『ゲルマントの方1』(ガリマール社、パリ、1920年、フランス語)	1920年頃	インク・青い鉛筆?/紙	豊島区立鈴木信太郎記念館
174	ポール・ヴァレリー	『海辺の墓地』エミール・ポール、パリ、限定本(371/556)、1920年、フランス語、鈴木信太郎文庫より			獨協大学図書館

175	ポール・ヴァレリー	『B手帖』 E.シャンピオン、パリ、4/130、1924年、フランス語、鈴木信太郎文庫より	獨協大学図書館
176	ポール・ヴァレリー、D.ガラニス（挿絵）	『オード』 オ・ザルド、パリ、1927年、フランス語、限定本（35/301）、鈴木信太郎文庫より	獨協大学図書館
音声	『フランスの詩と歌の愉しみ 近代詩と音楽』 並録CDより、詩の朗読と歌曲（約75分）		
映像1	影絵芝居『聖アントワヌの誘惑』と『星への歩み』（東京藝術大学音楽学部音楽音響創造受託研究による影絵芝居再現映像制作2011年を本展覧会用に編集）		

**3章：華麗なるエンターテインメント 劇場の誘惑**  
**Chapter 3: Glamorous Entertainment-The Enchantment of Playfulness in Theater**

177	ジュール・シェレ	《バントマイム》	1891年	リトグラフ/紙	★
178	ジュール・シェレ	《コスディー》	1891年	リトグラフ/紙	★
179	アンドレ・ドヴァンベズ	《俳優》	1900年頃	グアッシュ・水彩/パネル	★
180	アンドレ・ドヴァンベズ	《モンマルトル劇場の初演》	1901年	カラー・リトグラフ/紙	★
181	アンリ=ガブリエル・イベルス	《『時代遅れの人々』 テアトル・リーブル(自由劇場)のプログラム》	1892-1893年	リトグラフ/紙	★
182	アンリ=ガブリエル・イベルス	《『義務』 テアトル・リーブル(自由劇場)のプログラム》	1892-1893年	リトグラフ/紙	★
183	アンリ=ガブリエル・イベルス	《『霊気楼』 テアトル・リーブル(自由劇場)のプログラム》	1892-1893年	リトグラフ/紙	★
184	アンリ=ガブリエル・イベルス	《『眠れる森の美女』『銀婚式』、『アハシェロス』テアトル・リーブル(自由劇場)のプログラム》	1892-1893年	リトグラフ/紙	★
185	アンリ=ガブリエル・イベルス	《『強奪』『開放された女性』テアトル・リーブル(自由劇場)のプログラム》	1892-1893年	リトグラフ/紙	★
186	ジュール・シェレ	《ダンス》	1891年	リトグラフ/紙	★
187	ジュール・シェレ	《音楽》	1891年頃	リトグラフ/紙	★
188	シャルル・モラン	《ロイ・フラール（黄色の衣装）》	1895年頃	パステル、木炭/紙	★
189	シャルル・モラン	《ロイ・フラール（オレンジ色の衣装）》	1895年頃	パステル、木炭/紙	★
190-1	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『ミミ』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-2	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『彼女は恋している！』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-3	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『彼は恋している！』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-4	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『月へのセレナーデ』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-5	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『海から来た人々』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-6	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『傷ついた心』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-7	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『愛する方法』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-8	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『誠実な女性』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-9	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『過ちの告白』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-10	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『死者の歌』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-11	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『糸車の歌』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-12	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『ベリーダンス』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-13	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『自宅にいましょう』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-14	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『遺体安置所』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-15	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『貧しき人々の死』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-16	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『浪費家の死』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-17	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『ジル=プラス誌上のささやかな往復書簡』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-18	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『黒いストックキングのワルツ』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-19	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『ベチコートワルツ』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-20	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『パー-27』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-21	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『子どもたち』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-22	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『仲間』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-23	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『田舎っぺ』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-24	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『幼い母親たち』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-25	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『幸運な人々』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-26	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『リュクサンブールの未亡人』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-27	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『ラブレター』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-28	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『お母さん』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-29	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『現代の母親』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
190-30	アンリ=ガブリエル・イベルス	《挿絵付き上演目録『ピエロ医師』》	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ/紙	★
191	アンリ=ガブリエル・イベルス	《ラ・コスモポリータ》リトグラフのための習作	1894年	筆、墨汁、水彩、グアッシュ/紙	★
192	アンリ=ガブリエル・イベルス	《嘘》リトグラフのための習作	1893年	パステル/紙	★
193	アルベール・ギヨーム	《世紀末》素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル/紙	★
194	アルベール・ギヨーム	《無題（女性）》素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル/紙	★

195	アルベール・ギヨーム	《我がが恋人》 素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル/紙	★
196	アルベール・ギヨーム	《通りにて》 素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル/紙	★
197	アルベール・ギヨーム	《シャ・ノワール》 素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル/紙	★
198	アルベール・ギヨーム	《あなたはとても魅力的》 素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル/紙	★
199	ピエール・ボナール	『ピアノのための家族の情景集 (C.テラス曲)』より	1893年	リトグラフ/紙	栃木県立美術館
200	ジョルジュ・ルオー	《道化師》	1909年	油彩/紙 (麻布で裏打ち)	パナソニック汐留美術館
201	ジョルジュ・ルオー	《踊り子と白い犬》	1920-1929年	油彩/紙 (麻布で裏打ち)	パナソニック汐留美術館
205	ジョルジュ・ルオー	《道化師と子供》 (『サーカス』4)	1930年	シュガー・アクアティント、アクアティント/紙	パナソニック汐留美術館
206	ジョルジュ・ルオー	《老いたる道化師》 (『サーカス』5)	1930年	シュガー・アクアティント、アクアティント/紙	パナソニック汐留美術館
210	ジョルジュ・ルオー	《失脚したイヴ》	1912年	ミクストメディア/紙	★
211	ジョゼフ・ファヴロ	《月を持つピエロ》	1883年	油彩/カンヴァス	★
212	ジョゼフ・ファヴロ	《シルク・フェルナンドの道化師》	1885年頃	油彩/カンヴァス	★
213	ピエール・ボナール	《曲芸師とサーカスの馬》	1890-1892年頃	水彩/紙	★
214	アンリ=ガブリエル・イベルス	《サロン・デ・サン》	1893年	リトグラフ/紙	★
215	アンリ=ガブリエル・イベルス	《フーティットとショコラサーカスの情景》	1895年頃	インク、グアッシュ/紙	★
216	アンリ=ガブリエル・イベルス	《オーギュスト氏！》	制作年不詳	油彩/パネル	★
217	アンリ=ガブリエル・イベルス	《サーカスの芸人》	制作年不詳	水彩/紙	★
218	リュバン・ド・ボヴェ	《狂気の女王》	1895年頃	パステル/紙	★
219	アルマン・ラッセンフォッス	《移動サーカスの舞台にて》	1895年頃	インク、水彩、グアッシュ/厚紙	★
220	作者不詳	《フランソワ・フラテリーニ》	1900年頃	油彩/パネル	★

#### 4章：女性たちが活躍する時代へ

#### Chapter 4: Heading Towards an Age of Female Empowerment

221	ジョルジュ・ド・フル	《鳥と女性、または花の女性》	1893-1894年頃	グアッシュ、水彩、クレヨン/紙	★
222	ルイ・アンクタン	《櫛を身につけた女性(ヴァレット夫人の肖像であると推定)》	制作年不詳	パステル/カンヴァス	★
223 (前期)	アルフォンス・ミュシャ	《サラ・ベルナル》	1896年	リトグラフ/紙	堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市)
224 (後期)	アルフォンス・ミュシャ	《トスカ》	1899年	リトグラフ/紙	堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市)
225	ルネ・ラリック、アルフォンス・ミュシャ (デザイン)	《舞台用冠「ユリ」(エドモン・ロスタン作「遠国の姫君」にてサラ・ベルナルが着用)》	1895年頃	金属、真珠、ガラス	箱根ラリック美術館
226	ルネ・ラリック	《公演用プログラム「テオドラ」》	1902年	紙、印刷	箱根ラリック美術館
227	ルネ・ラリック	《メダル「サラ・ベルナル」》	1896年	銀	箱根ラリック美術館
228	エミール・ガレ	《サラ・ベルナルに送った花器姉妹品》	1899年	被せガラス、エッチング、グラヴユール、火磨き	株式会社神谷美術
229	シュザンヌ・ヴァラドン	《座る2人の女性》	1897年	黒チョーク・パステル/紙	★
230	シュザンヌ・ヴァラドン	《ベッドにもたれる裸のルイズ》	1895年	エッチング/紙	★
231	シュザンヌ・ヴァラドン	《フルーツ鉢》	1917年	油彩/ボール紙	★
パネル	マリー・キュリー	『ピッチブレンドに含まれる新種の放射性物質について』ゴーティエ・ヴィラルー、パリ、1898年、フランス語、初版			明星大学図書館
パネル	マリー・キュリー	『実験室ノート』パリ、1919年-1933年、フランス語			明星大学図書館
232	マルク・シャガール	《花束》	1911年	油彩/カンヴァス	山梨県立美術館
239		《イブニング・ドレス》	1920年代	木綿、ビーズ、シークイン/刺繍	文化学園服飾博物館
240		《イブニング・ドレス》	1929年頃	絹 (ヴェルヴェット)、ビーズ、ラインストーン/刺繍	文化学園服飾博物館
244		《帽子》	1920年代	ストロー、絹	文化学園服飾博物館
248		《こども服》	1900-1920年代	絹、レース	文化学園服飾博物館
249		《バッグ》	1910年代	ガラスビーズ/編み	文化学園服飾博物館
250		《バッグ》	1920年代	ガラスビーズ、ラインストーン/織り	文化学園服飾博物館
251	ガブリエル・アルジールソー	《ペンダント》	1920年代	ガラス/バート・ド・ヴェール	文化学園服飾博物館
252	ドーム兄弟	《ペンダント》	1910-1920年代	ガラス/バート・ド・ヴェール	文化学園服飾博物館
253		《バックル》	1920年代	メタル、ラインストーン、プラスチック	文化学園服飾博物館
254		《バックル》	1920年代	メタル、ガラスペースト	文化学園服飾博物館
255		《バックル》	1920年代	メタル、ラインストーン、ガラスペースト	文化学園服飾博物館
256		《バックル》	1920年代	メタル	文化学園服飾博物館
257		《バックル》	1920年代	メタル	文化学園服飾博物館
258-1 (前期)	ダーティ	《夏のドレス》 (1号、Pl. 11-12) 『パリジャンのスタイル』より リュシアン・ヴォーゲル編 リブリー・サントラル・デ・ボーザール、パリ、1巻、1915年8月、フランス語			文化学園大学図書館
258-2 (後期)	ダーティ	《絹の気軽なドレス》 (1号、Pl. 7) 『パリジャンのスタイル』より リュシアン・ヴォーゲル編 リブリー・サントラル・デ・ボーザール、パリ、1巻、1915年8月、フランス語			文化学園大学図書館
259-1 (前期)	ドゥーセ	《夜会に》 (1号、Pl. 1) 『優雅なパリっ子』より アシェット、パリ、4巻1号、1919年、フランス語			文化学園大学図書館
259-2 (後期)	ウォルト	《結婚式に》 (1号、Pl. 3) 『優雅なパリっ子』より アシェット、パリ、4巻1号、1919年、フランス語			文化学園大学図書館

260-1 (前期)		(11号)『新しいファッションのアイデア』より G-Pジュマール編 出版社不詳、パリ、1巻11号、1922年、フランス語			文化学園大学図書館
260-2 (後期)		《マルシャルとアルマンの店》(11号)『新しいファッションのアイデア』より G-Pジュマール編 出版社不詳、パリ、1巻11号、1922年、フランス語			文化学園大学図書館
261-1		『スポーツと気晴らし』(表紙) エリック・サティ(作曲)、シャルル・マルタン(挿絵) パブリカシオン・リュシアン・ヴォーゲル、パリ、1914年?、フランス語			文化学園大学図書館
261-2		《狩り》『スポーツと気晴らし』より エリック・サティ(作曲)、シャルル・マルタン(挿絵) パブリカシオン・リュシアン・ヴォーゲル、パリ、1914年?、フランス語			文化学園大学図書館
262	ポール・ボワレ、ポール・イリーブ	『ポール・ボワレのドレス』より (Pl. 10) ソシエテ・ジェネラル・ダンプレッション、1908年、フランス語			文化学園大学図書館
266	アンドレ・エデュアル・マルティ	《狼!》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ボショワール(ステンシル)/紙	栃木県立美術館
267	ルネ・ラリック	《ペンダント「白鳥」》	1897-1899年頃	金、エマイユ	箱根ラリック美術館
268	ルネ・ラリック	《ペンダント》	1920年代	ガラス	文化学園服飾博物館
269	ルネ・ラリック	《ペンダント》	1920年代	ガラス	文化学園服飾博物館
270	ルネ・ラリック	《ブローチ/ペンダント「少女の顔(頭部)」》	1896-1897年頃	銀、金属、パロック真珠、エマイユまたはパチネ	箱根ラリック美術館
271	ルネ・ラリック	《ブローチ「ベロニカと少女」》	1899年頃	金、エマイユ	箱根ラリック美術館
272	ルネ・ラリック	《香水瓶「ネヌファア」》	1911年	本体:無色ガラス、型吹き成形、部分的にフロスト、パチネ/栓:無色ガラス、プレス成形、部分的にフロスト	箱根ラリック美術館
273	ルネ・ラリック	《香水瓶「彼女たちの魂」》ドルセイ社	1913年	本体:無色ガラス、型吹き成形/栓:無色ガラス、プレス成形、部分的にフロスト	箱根ラリック美術館
274	ルネ・ラリック	《香水瓶「美しき季節」》ウビガン社	1925年	本体:無色ガラス、型吹きプレス同時成形、パチネ、部分的にフロスト/栓:無色ガラス、プレス成形、パチネ、部分的にフロスト	箱根ラリック美術館
275	ルネ・ラリック	《ダイニング用センターピース「火の鳥」》	1922年	無色ガラス、プレス成形、部分的にフロスト 台座:ブロンズ	箱根ラリック美術館
276	ルネ・ラリック	《花器「スカラベ」》	1923年	色ガラス、型吹き成形、部分的にフロスト	箱根ラリック美術館
277	ルネ・ラリック	《花器「つむじ」(別名「浮き彫りされた渦巻」)	1926年	無色ガラス、プレス成形、黒エナメル彩	箱根ラリック美術館
278	ルネ・ラリック	《花器「マルシェルブ」(別名「ネフリエの葉」)	1927年	被せガラス(オパールセントガラス+色ガラス)、型吹き成形、パチネ	箱根ラリック美術館
279	ルネ・ラリック	《灰皿「七面鳥」》	1925年	色ガラス、プレス成形	箱根ラリック美術館
280	ルネ・ラリック	《灰皿「犬」》	1926年	無色ガラス、プレス成形	箱根ラリック美術館
281	ルネ・ラリック	《灰皿「ひなぎく」》	1929年	色ガラス、プレス成形、フロスト、パチネ	箱根ラリック美術館
映像2		『スポーツと気晴らし』(東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科受託研究による映像制作2015年を本展覧会用に編集)			

特別出品  
Special exhibit

	エミール・ガレ	《白鳥型陶器》	1889年頃	ファイアンス、色釉	株式会社神谷美術
	エミール・ガレ	《しだ文ランプ》	1905-08年頃	被せガラス、エッチング	株式会社神谷美術
	エミール・ガレ	《しだ文吊ランプ》	1918-1931年頃	被せガラス、エッチング	株式会社神谷美術
	エミール・ガレ	《藤文花瓶》	1910年頃	被せガラス、エッチング	株式会社神谷美術
	エミール・ガレ	《木立文花瓶》	1900年頃	被せガラス、エッチング、グラヴュール、火磨き	株式会社神谷美術
	エミール・ガレ	《ししうど文椅子》	1902年頃	木、象嵌	株式会社神谷美術
	エミール・ガレ	《オンベル文花瓶》	1899-1900年頃	被せガラス、装飾挟み込み、金属酸化物封入、グラヴュール	株式会社神谷美術
	ドーム兄弟	《サクラソウ文花瓶》	1919年頃	被せガラス、異色熔かし込み、ヴィトリフィカシオン、ラメル、エッチング、グラヴュール	株式会社神谷美術
	ドーム兄弟	《風雨樹林文ランプ》	1903年頃	異色熔かし込み、エッチング、ジブレ、エナメル彩	株式会社神谷美術
	ドーム兄弟	《すみれ文吊ランプ》	1905年頃	異色熔かし込み、エッチング、ジブレ、エナメル彩、金彩	株式会社神谷美術
	ドーム兄弟	《すみれ文壁掛ランプ(一対)》	1905年頃	異色熔かし込み、エッチング、ジブレ、エナメル彩、金彩、木、金属	株式会社神谷美術
	ドーム兄弟	《花文耳付花瓶》	1900年頃	被せガラス、異色熔かし込み、エッチング、グラヴュール、マルトレ、アププリケ	株式会社神谷美術
	マジョレル	《藤文ベッド》	1900年頃	木、象嵌	株式会社神谷美術
	マジョレル	《ライティングデスク》	1902年頃	木、革、金属	株式会社神谷美術
	ピエール・ジュモー	《ファッションドール》	1865年頃	磁器、革、布、ガラス	株式会社神谷美術
	ゴーチェ	《ファッションドール》	1870-1885年頃	磁器、革、布、ガラス	株式会社神谷美術